**職　務　経　歴　書**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　20xx年xx月xx日現在

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　○○ ○○

**■職務要約**

大学では○○研究室で燃料電池に使用される電極材料についての研究を行い、○○学会でも○○回論文を発表してきました。現職ではレアメタルを用いた複合材料の開発を行っております。製品化されたものも○○アイテムあり、その量産化対応も経験してきています。

**■職務経歴**

□20xx年xx月～現在　○○○○株式会社

　◆事業内容：燃料電池の開発、製造、販売

　◆資本金：○○○百万円　売上高：○○○百万円（20xx年）　従業員数：○○○名　上場

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 期間 | 担当製品 | 担当業務 | 環境/ツール | メンバー/役割 |
| 20xx年xx月　～20xx年xx月 | 燃料電池用金属セパレータ材 | セパレータ材の評価・解析・耐食性評価方法の確立・燃料電池要求特性の評価・製品化・工場移管 | SEM | 3名技術支援担当 |
| 20xx年xx月　～20xx年xx月 | HDD 磁気ヘッドのサスペンション用クラッド材 | クラッド材（金属複合材料）開発・仕様打合せ（顧客・社内）・クラッド材の板厚比率設計・試作・特性評価（バネ性・レーザーｰ溶接性）・量産化対応（条件出し・現場指示）・製品化・関係製造会社の製造ラインへの適応・特許数件出願 | SEM引張り試験装置 | 2名技術開発担当 |
| 20xx年xx月　～現在 | 冷陰極放電管用電極材 | 金属複合材料開発・レーザー溶接の技術開発・金属リードへのガラス封着技術開発・放電特性に優れた材料開発・評価・レアメタル（Nb）とNi の二層複合材料の開発及び量産化・模擬放電試験装置の作製・量産化対応（条件出し・現場指示）※量産化の功績が認められ社長賞受賞（20xx年）・研究機関向け材料の調査、開発対応　○○大学、○○研究所、○○センター・特許数件出願 | X 線回折装置SEM2次元CAD（MicroCADAM）イオンビームエッチング装置 | 20名技術開発担当20xx 年xx 月～技術開発主任（部下2名） |

**■活かせる経験・知識・技術**

・電子材料（金属複合材料を含む）の成分設計・試作・評価

・放電電極材料、放電特性（高二次電子放出性・耐スパッタ性）に関する技術

・市場・特許調査から企画化までの顧客へのプレゼンテーション

（実際にはアイディアは不採用ながらも優先的地位を確立）

・電子材料用レアメタルに関する知識（Nb・Pt・In 等）

・化学分析技術（SEM・X線回折装置）、2D-CAD（MicroCADAM）による機構設計

**■論文・特許・学会発表**

　・特許出願　8件（うち外国出願1件）（cf. WOxxxx/xxxxxx）

・学会発表

　　　「○○○○の理論解析と最適化条件の実証的検討」第○○回○○○○学会、東京、20xx年xx月

　　　「○○○○の構造と活性」第○○回○○○○学会、大阪、20xx年xx月

　・論文

　　　「○○○○と○○○○の構造活性と変質の関係性」○○○○研究雑誌、132、○○○○学会、20xx年xx月

**■資格**

・普通自動車運転免許証（20xx年xx月）

**■自己ＰＲ**

あまり、限定せずに簡潔に！

・大学時代は材料工学専攻で、燃料電池に使用される電極材料についての研究を行ってきました。現在も新規の電子金属材料の開発を通してレアメタルを用いた複合材料の開発を行っているため、自動車・電子部品等の金属材料の検討について御社でもお役に立てるのではないかと考えております。

・技術屋として、言われる前に自分から気付き、これまで会社では取り組んでこなかったような手法を提案し導入するなど、行動力・積極性は周囲から評価されています。また開発におけるチームリーダー経験を通じて、これまで見えていなかった自分自身のまずい点（不十分な報告・連絡・相談）に気付くことができました。そして、そこを部下に注意することで自らをも戒めるよう心がけています。

・これまで同様、材料についての知識・経験を深め、今後は最終製品の市況を左右できるような新しい技術開発を行っていきたいと考えております。ぜひ面接の機会を与えていただきたく存じます。宜しくお願いします。

以上